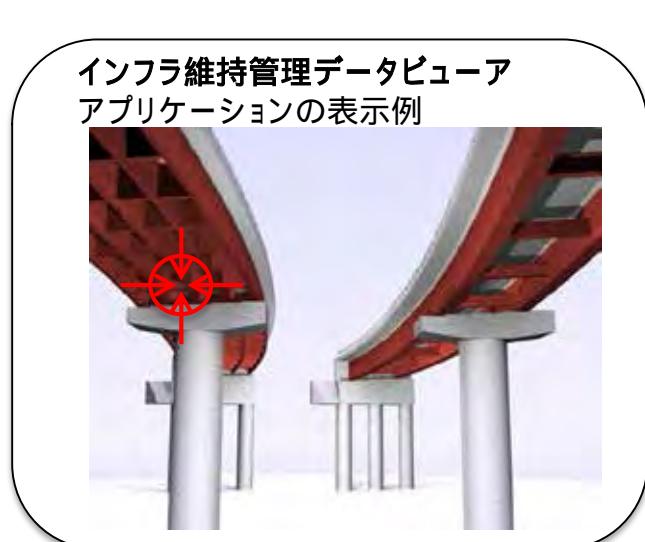
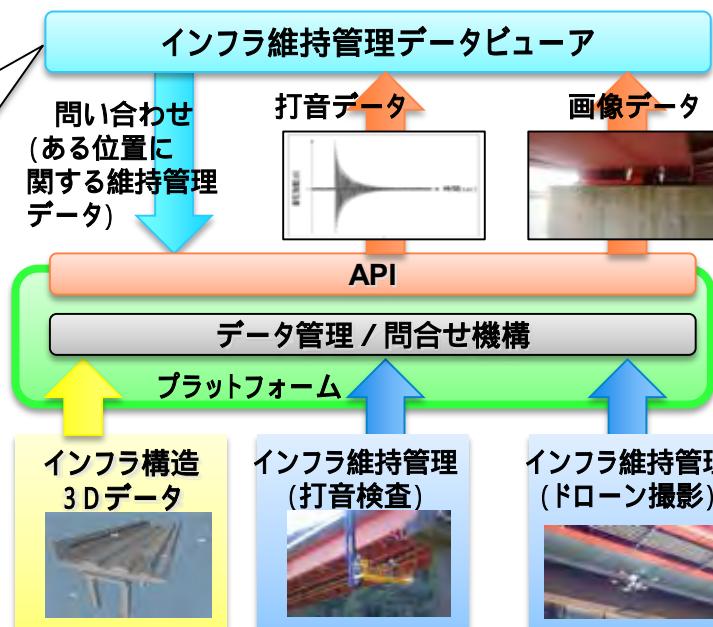


応用例①：インフラ維持管理情報アクセス

- 橋梁やトンネルなどのインフラの維持管理情報と位置情報をリンク
- 位置情報付き維持管理情報を入力
 - 画像データ、打音検査データ
- 位置情報から当該箇所の過去の維持管理情報を出力



ポインターを置くとその箇所の
点検情報にアクセス出来る



位置情報入力または
3D表示上の箇所にマウス
などをあわせる

当該位置付近の過去の
維持管理情報を表示・再生

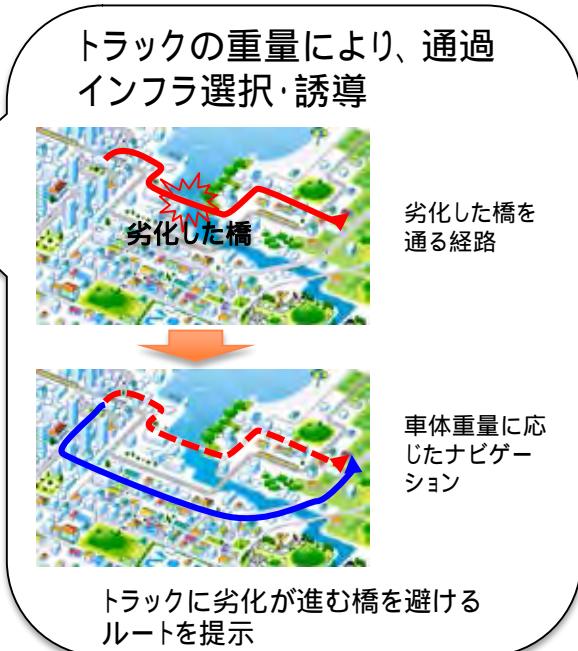
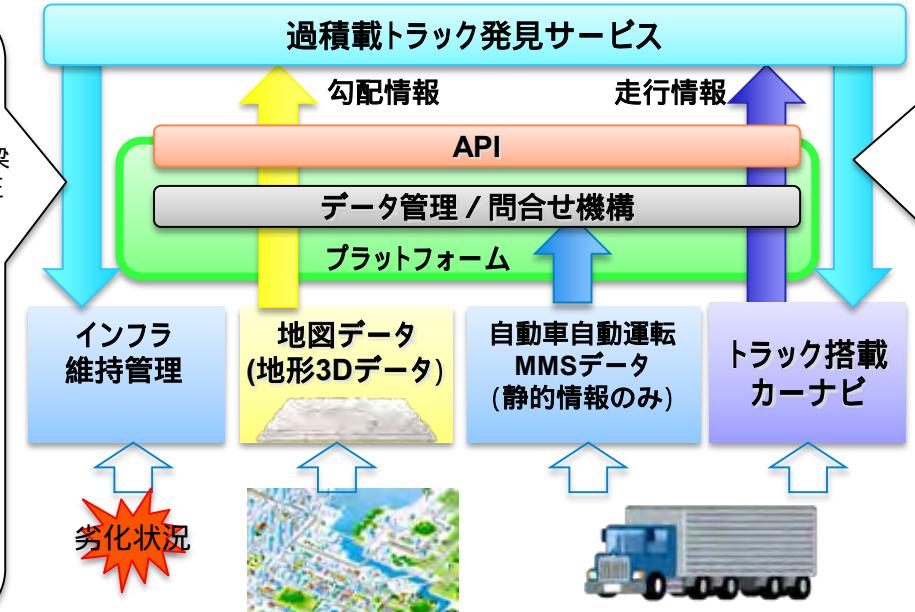


タブレット等
に表示

- インフラ維持管理データは当該箇所の3次元位置情報により格納・管理

応用例②：過積載トラック対策

- インフラに対して過積載トラックは、通常積載トラックと比べて深刻な影響を与える
 - 過積載トラックの通過回数などを推定
- 過積載トラックの発見方法
 - 振動他から推定する方法
 - カーナビ情報を利用する方法
 - 加速度より推定するには道路勾配情報が必須



画像によるトラックの揺れにより過積載の推定に加えて、橋梁の振動やトラックエンジン、道路勾配などの情報から推定

今後の課題

- 共通プラットフォームが取り扱う範囲はどこまでか
- 現状のデータ利活用に関する課題は何か
- データの公開の方法とプラットフォームの管理者の在り方
- データの蓄積の方法、共有の仕組み、共用によるシステムのコストダウン
- データサイエンティスト等、情報学分野の技術者との協働
- SIP終了後のビジネス化に向けた対応